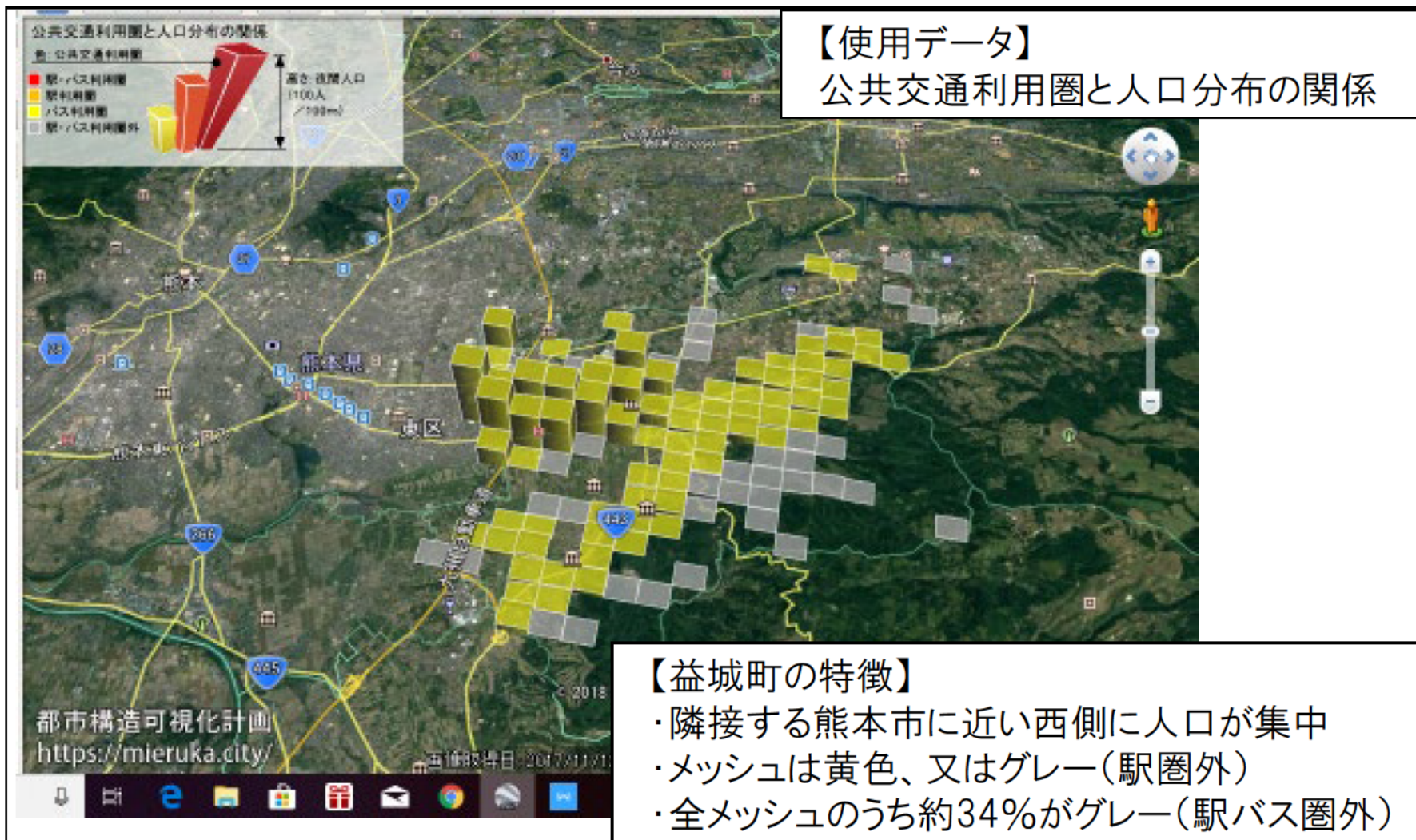


益城町の交通政策検討 ～都市構造可視化を用いた 他都市との比較～

熊本県 土木部
道路都市局 都市計画課

1. 益城町の現状～公共交通に関して～

都市構造可視化により、町の現状を把握。

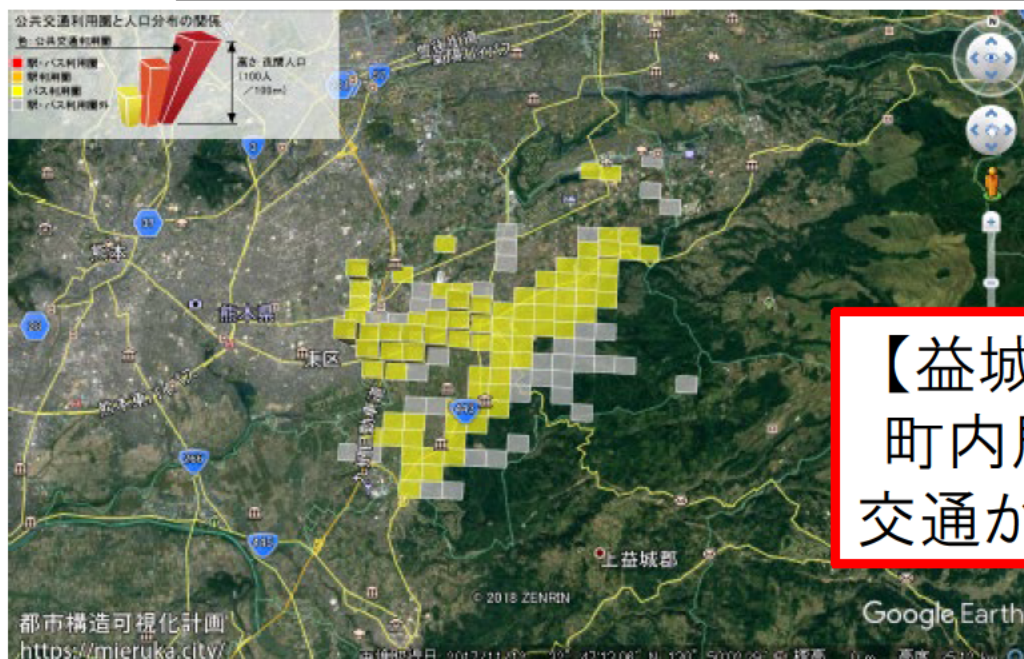


2. 益城町の課題～公共交通に関して～

把握した現状その他データから、課題を抽出。

【益城町の特徴】

- ・隣接する熊本市に近い西側に人口が集中
- ・メッシュは黄色、又はグレーのみ（駅圏外）
- ・全メッシュのうち約34%がグレー（駅バス圏外）



【益城町の課題】

町内居住区の3分の1で公共交通が利用できない

3. 課題解決に向けた検討

益城町と類似する都市を探す。

【検討のアプローチ】

益城町と似た都市構造の都市があるはず。



その中には、課題解決のヒントとなる「良い事例」があるはず！（なんなら真似してしまえ…！）



しかし、数値データ等から「似た都市」を探すのは非常に困難。



「都市構造可視化」を使えば、視覚的にすぐ見つかるのではないかな？



↓ やってみたところ

【探索方法】

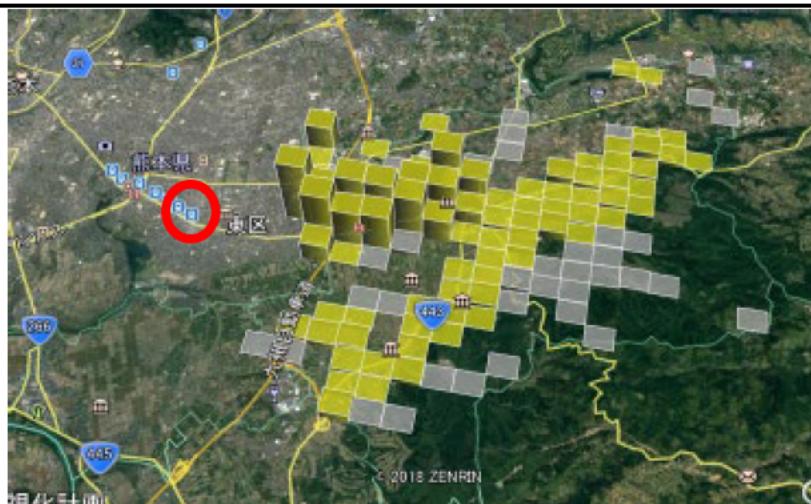
- ①規模（人口、面積、人口密度）が近い町の中から、
- ②可視化した際、「視覚的に似ている町」を選定し、
- ③その町の公共交通機関の状況を調べた。

↓ 見つけました！

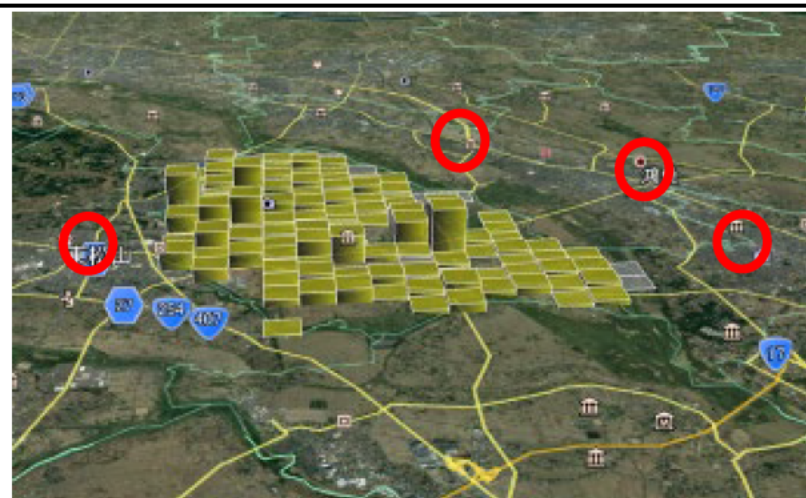


4. 類似都市から学ぶ

類似都市との比較



熊本県益城町



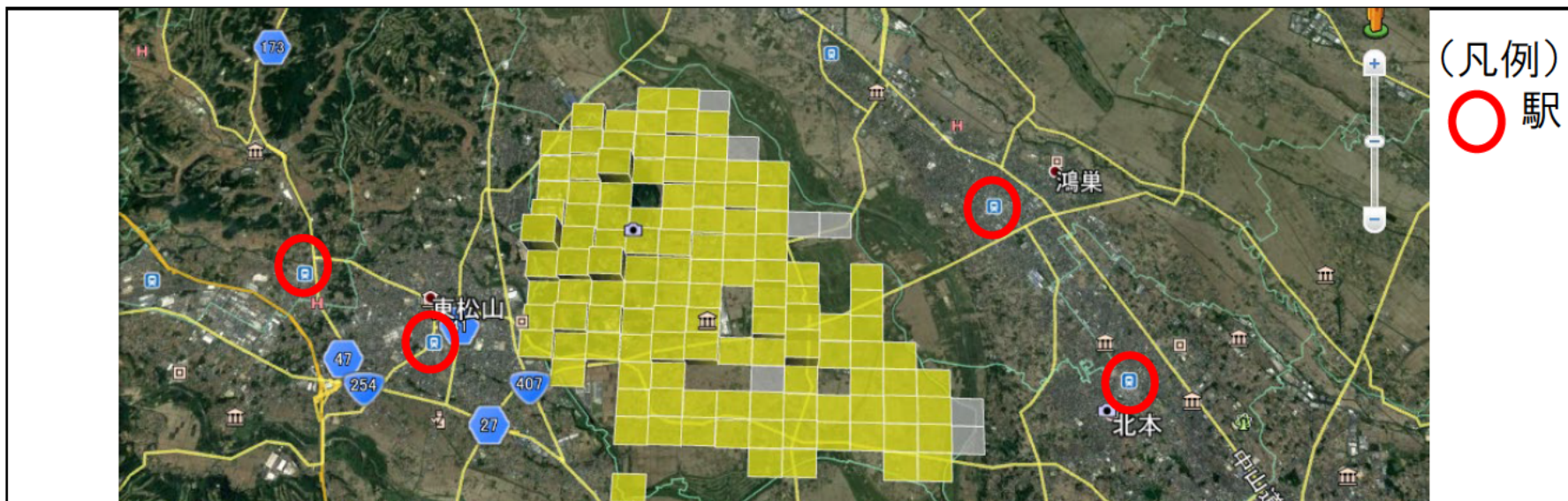
埼玉県吉見町

(凡例) ○ 駅

	益城町	吉見町
類似点	駅利用圏がない	
	近隣市町に駅が立地（数は違う）	
相違点	人口密度の差が大きい	人口密度の差が小さい
	駅バス圏外 3 4 %	駅バス圏外 6 %

5. 類似都市から学ぶ2

【問】 なぜ、駅バス圏外が6%しかないのか？



【答え】
町内巡回バス＋駅(町外)へのアクセスバスにより、町内全体をカバーする公共交通網が形成されているから。

6. まとめ

検討を通して分かったことと、今後の展望。

【分かったこと】

- ・都市構造可視化は、“視覚的な気づき”を得やすいため、比較すべき他都市を探すのに有用である。
- ・既存資料やインターネット等と複合的に活用することで、課題解決の糸口が見つかる。

【今後の展望】

- ・比較した都市の詳細を調べることで、具体的な課題解決方法や新たな課題の検討を行いたい。
- ・他の課題に対しても、多くの事例を集めるための足掛かりとして、都市構造可視化を活用したい。

熊本県 土木部
道路都市局 都市計画課